

図書館活用教室

3年 特別活動
キャリア教育
「図書館活用教育」
利用指導

ねらい

- 高校を卒業して、社会人になるにあたって、有効に図書館活用ができるように、図書館の活用の方法や意義を学ぶ。

学 習 展 開

- ① 司書教諭が図書館活用教室のねらい（図書館を活用できる社会人になってほしいこと）を説明する。
- ② 講師（学校図書館支援員）から県立図書館の紹介。以後⑥まで講師が担当。
- ③ 社会における図書館の持つ役割の説明。
- ④ 図書館に寄せられるさまざまなレファレンス（相談）事例の紹介。
- ⑤ 人生を変えた本や図書館との出会いの紹介。
- ⑥ 本紹介（高校生が知らないような専門雑誌や起業に必要な高額なデータ本など）
- ⑦ 司書教諭によるまとめ。
- ⑧ アンケートの実施



県立図書館
学校図書館支援センターによる授業
「未来につながる図書館教育」

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、該当学年団（3年）と事前に協議をし、内容や時期について検討する。
- 司書教諭は、講師に依頼するとともに、学年団の意見をもとに講師と内容について検討する。
- 司書は、講師から依頼を受け、資料を準備する。
- 司書教諭が進行を行う。
- 司書は授業に参加し、学年団、講師とともに生徒の支援を行う。

★指導のポイント

- ◆ 図書館では様々な相談に対応してもらえることを伝える。
- ◆ 講演で紹介する本以外にも多様な本を準備し、授業前後に閲覧できるように準備する。
- ◆ アンケートをとり、次年度につなげる。

資料

図書館活用に関するパワーポイント
授業で紹介する図書（30冊程度9類以外）